

飼料用米用途に適した水稻品種「ホシアオバ」の選定

農業研究部・水田農業グループ

1. 研究の背景

飼料用とうもろこし等の輸入穀物飼料の需給逼迫による代替として、また戸別所得補償制度等の実施にともない、県内で供給出来る飼料用米の作付が増加している。しかし、本県では収量性や耐病性に優れた飼料用米用途の品種選定は行われていない。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

収量性、耐病性に優れた飼料用米品種として「ホシアオバ」を選定した。

「ホシアオバ」の主食用品種「ヒノヒカリ」と比較した特徴。

- ・ 成熟期が5～8日遅い。
- ・ 収量が約3割多く、倒伏に強い。
- ・ 病害に強い。
- ・ 粒が大きく、外観品質が劣るので、識別性が高い。



表1 試験成績(水田農業グループ(宇佐)圃場、2009～2011年の3ヶ年平均)

作期	品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	収量 (kg/a)	収量比 (%)	千粒重 (g)	倒伏程度 (0-5)	玄米
											タンパク質含有率 (DM%)
早植 (6月上旬)	ホシアオバ	8.20	10.08	106	21.2	285	78.9	126	29.1	0.0	7.0
	ヒノヒカリ	8.24	10.03	94	19.1	412	62.5	100	22.0	1.2	7.4
標準植 (6月下旬)	ホシアオバ	8.26	10.20	100	21.6	281	77.7	127	30.1	0.8	6.9
	ヒノヒカリ	8.28	10.12	89	19.1	407	61.0	100	22.2	1.7	7.3

注1) 収量および千粒重は水分含量15%換算した値を、玄米タンパク質含有率は水分含量0%換算した値を表す。

2) 倒伏程度は無・微・少・中・多・甚の6段階を0～5で表す。

表2 病害抵抗性等

	ホシアオバ	ヒノヒカリ
葉いもち	強	弱
穂いもち	強	弱
白葉枯病	中	やや弱
縞葉枯病	抵抗性	罹病性
脱粒性	難	難
穂発芽性	易	難

3. 期待される効果

- ・ 飼料用米の作付面積拡大に寄与できる。
- ・ ヒノヒカリよりも多収のため、戸別所得補償制度で定められた基準収量を満たすことができる。
- ・ 主食用米との区別が容易で、主食用米への流入の危険性が少ない。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 作物栽培チーム

TEL : 0978-37-1160

住所 : 宇佐市大字北宇佐 65